

“いきいき子ども！あたたか家族！はつらつ先生！” 地域が支える教育の板橋  
“学び合う、学び続ける人づくり！” 地域を創る教育の板橋

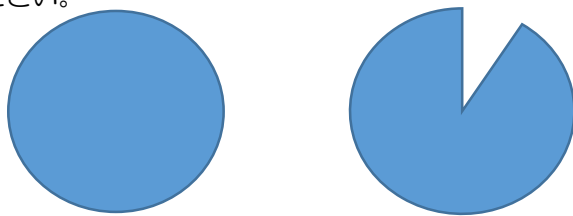
## 教育長からのメッセージ

### 「よさに目を向ける」

ある新聞のコラムに次のような記事が載っていました。

「簡単な実験だ。目の前に2つの円がある。完全な円と一部が欠けた不完全な円だ。両方を手で隠して、パッと放す。・・・」

☞ やっててください。



「・・・このとき不完全な円が先に目に入る人が多いといわれる。人は脳の構造上、完全なものよりも不完全なものに目を向けがちなのだそうだ。」



教育長 中川 修一

みなさん、いかがでしたか。確かに、小学生や中学生の頃、テストが返却されると真っ先に「○」（正解した問題）より「×」（間違えた問題）に目が向きました。掃除や係活動の時にも、「先生、〇〇さんがサボっています」と先生に言いつけたことを思い出します。そして、教師になってから、テストを子どもたちに返すときに、できている問題を認めるより、「ここが惜しかったね。」「ここが分からなかったのかな」と間違えたりできなかったところを指摘していました。また、掃除中も頑張っている子をほめる前にサボっている子を叱っていました。冒頭の実験のごとく、私も良くないところやできないところ凹を見つけてしまう習性がありました。しかし、このことについて特段違和感なく教員生活を過ごしていました。

そういう中、教員生活6年目にペルー共和国のリマ日本人学校に赴任する機会をいただきました。生活していく上で欠かせないのが、当地の母語であるスペイン語。そこで、スペイン語の指導を個別に受けることにしました。1週間に一度のペースでしたが、久しぶりに習う立場、学ぶ立場に立ってみて、スペイン語の先生からスペイン語の他にとても大切なことを学ぶことができました。それは、「bueno（いいですね）」、「Muy bien（とてもいいですよ）」、「maravilloso（素晴らしい）」という先生からのほめ言葉をシャワーのように受ける体験をできたことです。決して出来のいい生徒ではなく、宿題も忘れてしまう劣等生の私に対しての先生の対応に、私は自身のスペイン語熱の高まりを感じつつ、少しでもできたところをほめられることの心地よさを実感できました。

その経験をもとに、私はこれまでの自分の子どもたちへの言動を見直し、「ほめ上手」になろうと、教師としての姿勢を転換することにしました。とは言っても、長年の癖とはなかなか縁が切れず、改めてプラスを見つけることはマイナスを見つけることよりもはるかに難しいと思いました。そこで、1日に1つクラス全員の子どものよいところを見つけメモすることにしました。始めた頃は1つも見つけれない子どもの多さに落ち込むことも少なくありませんでした。ところが続けていると不思議なもので、朝元気な声で教室に入ってくる子、教室に落ちているごみをそっと拾う子、授業中問題を一生懸命考えている子、友達を遊びに誘っている子などに気付くようになりました。当然子どもをほめる機会が増え、自分の気持ちもクラスの雰囲気も明るくなっていきました。

さらに、学級通信「すくらむ」にもできるだけそれらを紹介するようにしたところ、連絡帳に保護者から「子どもをほめる機会が増えました」というような声を複数伝えられるようになりました。もちろん叱ることも多かったのですが、叱った後こそ、その倍以上にほめることを忘れませんでした。

その後、学校から教育委員会へ職場が移り、日々接する対象が子どもから大人に変わりましたが、「よさに目を向け、声に表す」という姿勢は大切にしていこうと努めています。なぜなら、私自身が何歳になっても、認められるたびに、ほめられるたびに、あのスペイン語のレッスンの時のような喜びがよみがえってくるからです。



←こちらから学校訪問の様子がご覧になれます。  
また、板橋区公式ホームページからもアクセスできます。

学校訪問

検索

※PDFで閲覧の場合、二次元コードや★のついた図をクリックいただくと、該当HPに画面が移ります。

## 「板橋区 教科等指導専門官」を紹介します

平成30年度より、区教育委員会は、板橋区立学校において各教科等で授業力の優れた先生を「板橋区 教科等指導専門官」に任命しています。区内の先生方へ授業の公開や指導助言を行うことにより、教科等の特性を踏まえた「板橋区 授業スタンダード」や「読み解く力」の育成による授業革新を一層推進しています。

### 《小学校》

教科等	学校名	氏名
国語	志村第四小学校	高桑 美幸
社会	成増小学校	福田 匡恭
算数	大谷口小学校	丸橋 和枝
理科	板橋第六小学校	秋葉 翔
音楽	板橋第六小学校	星野 朋昭
体育	北野小学校	宇田川 鉦介
図工	志村第一小学校	田村 久仁子
家庭科	成増小学校	菅 慶子
特別活動	若木小学校	柏 範行
特別支援学級	中台小学校	錦谷 香江
情報教育	上板橋第四小学校	曾根原 加果
特別支援教室	成増小学校	内藤 真裕美

### 《中学校》

教科等	学校名	氏名
国語	中台中学校	木下 千津子
数学	上板橋第二中学校	井上 直大
理科	上板橋第二中学校	尾内 紀之
社会	西台中学校	村前 聖菜
道徳	赤塚第三中学校	木下 杏里
特別支援教室	板橋第三中学校	小熊 慎吾

【問合せ】指導室 ☎ : 3579-2643



## まなぼーと成増フェスタを開催します！！

### まなぼーと成増フェスタ



ステージ発表  
作品展示あり

詳しくは  
区役所HPか  
まなぼーと成増まで  
お問い合わせ下さい

### ワークショップ・体験コーナー

- 超高齢社会体験ゲーム
- クラフト制作
- ロープワークと手旗の体験
- 絵手紙を描いてみよう!
- 折り紙しましよ!
- 手作りおもちゃで遊ぶ
- 伝える言葉の選び方講座
- 英会話
- リボン編みのストラップ

日時等詳しくは区役所HPからチラシをDLして下さい

【問合せ】まなぼーと成増 ☎3975-9706

開館時間：午前9時から午後9時30分

休館日：第3月曜日・年末年始

(12月29日から1月3日まで)

開催日  
5/25(土) 13:00~17:00  
5/26(日) 10:00~16:00

会場 まなぼーと成増 住所:板橋区成増1-12-4



区ホームページは  
こちら



※PDFで閲覧の場合、二次元コードや★のついた図をクリックいただくと、該当HPに画面が移ります。

## 上板橋第二中学校が、「優良学校施設表彰」の部門賞に選ばれました！

令和4年度から供用を開始した上板橋第二中学校が、一般社団法人文教施設協会の実施する「優良学校施設表彰」において、オープンな図書館や、教科センター方式の運営を前提とした設計などが評価され、部門賞「新しい教育環境」部門に選定されました。

### オープンな図書館とは？

上板橋第二中学校では、図書館を独立した部屋とせず、子どもたちが多く行き来するオープンなスペースに本棚を設置し、本に触れやすくなることで、子どもたちが自ら学ぶ環境の充実を図っています。



さらに詳しい情報はこちら



生徒が通る廊下からもアクセス可

### 教科センター方式とは？

授業を専用教室（教科教室）で実施し、各教科の教材や展示物を設置できるエリア（教科センター）を設ける学校運営方式を「教科センター方式」といいます。

生徒は登校後にそれぞれのロッカーが設置された部屋（ホームベース）に荷物を置き、必要な教材を持って各教室に移動して授業を受けます。これにより、生徒が時間を意識して主体的に行動する習慣が身につくほか、教員の移動がなくなることで授業準備時間が短縮され、より充実した授業を行えるなどの効果が見込まれます。



### 教科教室（写真奥）



### 志村小・志村四中 小中一貫型学校の開校を予定しています

志村小学校と志村第四中学校は、小中一貫型学校への改築を予定しています。改築後の新校舎では、上板橋第二中学校と同様に、オープンな図書館や教科センター方式などを採用します。小中一貫型学校の詳細などについては、区ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



詳しくはこちら



【問合せ】  
新しい学校づくり課 ☎：3579-2624

## 身近な教育委員会を開催します！ ～ アフターコロナの学校生活 ～

板橋区では「区民が身近に感じる教育委員会の実現」に向け、保護者や地域の方との意見交換の場として、年に2回「身近な教育委員会」を実施しています。

令和6年度第1回身近な教育委員会のテーマは「アフターコロナの学校生活」です。2020年に突然訪れた新型コロナウイルスによって、緊急事態宣言などで大きく行動が制限されました。あの時学校は、教育は、どんな対応をしたのか…、第一部では発生当初から今までの間に学校とあいキッズがどう考え対応してきたかを報告します。

第二部では、発生から4年が経ち世の中が大きく変わった今、学校は、教育は、どう変わっていくのか、どう変わっていったらいいのか、一緒に考えましょう。

詳細は、二次元コードより区ホームページをご覧ください。

昨年度の様子



●より魅力ある情報を発信するために

いたばし教育チャンネルについて、アンケートにご協力ください。



【問合せ】教育総務課庶務係 ☎：3579-2603